

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ;

創立： 1985 年 3 月 27 日; RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665);

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F;

電話： 059-383-7077; FAX: 059-383-0501;

E-Mail: info@rotary-suzuka-west.org; https://www.rotary-suzuka-west.org/

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール; 例会日： 火曜日; 例会食事： 12: 00; 例会： 12: 30-13: 30;

UNITE

FOR

GOOD

よいことのために手を取りあおう

2026 年 3 月 3 日(火)第 1821 回例会

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール

開始： 12: 30 終了： 13: 30

例会進行： 江藤隆仁 副 S A A

点鐘： 会長 森 喜代造

ソング： 君が代 奉仕の理想

ソングリーダー： 川戸広樹 会員



会長挨拶 森 喜代造 会長

皆さま、こんにちは。今日は 3 月 3 日、ご存じのように、ひな祭りでございます。

ひな壇を作って雛人形を飾り、菱餅や白酒、桃の花などを供える、古くは源氏物語にも出ております。

そして江戸時代に入り一段と盛んになり、娘の友達を呼んで、ひな壇の前で楽しく過ごすのは、娘親にとってなんとも喜ばしいものでございます。

また今日は語呂合わせで、耳の日でもございます。これはヘレンケラーにサリバン先生が教育を始めた日でもございます。

さて、雛の制作ははっきりしませんが、はじめは紙で作った、いわゆる紙雛であったと言われております。

日本では古くから 3 月の初めに農耕儀礼の上で、みそぎをして汚れを払う習慣がありました。その時に人形を作り、それに汚れを移して流したのが、雛祭りの起源とも言われております。

またひな祭りは日本の伝統的な行事の一つでございまして、女の子の健やかな成長を祈るために、毎年 3 月 3 日に行われております。これは桃の節句とも呼ばれ季節の変わり目に、健康と幸福を祈る節句の一つでございます。

特に旧暦で言われる地域では、春の農作業の後に 4 月 3 日、一ヶ月遅れで行われるところもございまして、この日付は自然と生活リズムに基づいております。

また、ひな祭りの起源は古代中国の節句にあたり、これは川で体を清めることで魔除けを払う儀式が行なわれておりました。この風習が日本に伝わり平安時代には流し雛として定着し、次第に現在の形に発展しております。

さて、私も西ロータリークラブに入会して 8 年

が経ちました。

入った当時は一つひとつの言葉の意味が分からなく、先輩諸兄によく聞いたものでございます。

特にSAAという言葉がありますが、サージェント、アット、アームズで頭文字を取った言葉であります。いわゆる会場監督で会の秩序や進行を保ち、風紀を乱さないように取り図っていく委員会と聞いております。

10年前はロータリークラブも大変盛況であったと聞いておりますが、現在ではどこのクラブも会員が年々減少していくと厳しい状況であります。

これからは如何に会員増員を図り、以前のよう楽しいクラブに発展していけば良いなと思う次第でございます。

私、会長もあと4ヶ月になりましたが、これからも皆さま方のご協力を頂きながら頑張りますのでよろしくお願い致します。

以上でございます。ありがとうございました。



幹事報告 柴田友美 幹事

1. 当クラブ例会場変更のお知らせ

- 3月17日(火) 休会
- 3月31日(火) ⇒3月30日(月) 創立41周年記念例会のため南欧風家庭料理

ランテルナ(夜間例会)

2. 鈴鹿・亀山グループ各ロータリークラブ例会変更のお知らせ

亀山RC : 3月2日(月)・3月9日(月)・3月16日(月)・3月23日(月)・3月30日(月) 会場都合のためロータリー事務所

2. 第10回理事・役員会決議報告

【理事数 : 8名】

出席 : 川戸 紫田 江藤 伊藤(義) 藤野
小林 沖 (7名)

オブザーバー 服部 (1名)

欠席 : 森(喜) (1名)

第1号議案: 3月度プログラムの確認および4月度プログラムについて

○沖委員長の説明を受けその内容が承認された
○変更点について

- ・クラブ協議会名をフォーラムに変更する
- ・4月7日の環境月間は月間にちなんで(伊藤義会員)、一口情報(岩崎会員)とする

第2号議案: 2027-28年度ガバナー補佐候補者確認について

○服部高宣会員を候補者として以下の手順により承認されていることを確認した。

- ・8月19日(火) 指名委員会 ⇒ 第4回理事・役員会にて承認
- ・10月7日(火) 例会発表

第3号議案:

○山崎ていじ会員チャリティコンサート(7月4日土曜日)について

- ・例会変更は定款記載通りできないが、メイキャップと扱いとする
- ・クラブは主催協力をするのでコンサートへの

協力を会員には呼びかける

- ・当クラブへの依頼作業 ①チケットのもぎり作業(一部・二部) ②募金ブースの対応(一部・二部) 募金:ポリオ・子ども食堂

○ファンクラブへの質問事項

- ・主催者側との協議(打ち合わせ)に参加する容易があることを伝える。
 - ・当日の作業支援会員の入場料について尋ねる。
 - ・作業時間は開場 30 分前からコンサート開始 15 分後までとする。
 - ・終了後の募金活動は 20 分以内とする。
 - ・基本、午後と午前に分かれて対応をする。
 - ・お金の扱い作業はしない(ポリオ募金のみ当クラブが管理する)。
3. 森 豊会員は 2 月 18 日、三重県知事より食品衛生功勞の表彰を受けましたのでお知らせいたします。
 4. ロータリーデーについて(お願い)を配付してございます。
 5. 創立 41 周年記念例会&鈴鹿西 R C・亀山 R C 合同例会の案内を配付してございます。
 6. 2026 年 3 月のロータリーレートは 1 ドル 156 円です。



委員会報告

* 3 月度会員誕生お祝い

藤野恵子 親睦・家族委員長
・沖 俊成会員 ・野間芳実会員

* 創立 41 周年記念例会について

藤野恵子 親睦・家族委員長

* ロータリーの友 3 月号紹介

川戸広樹 クラブ広報委員長

出席報告

江藤隆仁 出席委員長

正会員 23 名中 12 名出席 出席率 66.66 %

ニコニコボックス報告

藤野恵子 親睦・家族委員長

敬称略・順不同

※多額

※森 喜代造:本日はご苦勞様です。卓話よろしく
くお願いします。

柴田友美:ひな祭りです。本日卓話よろしくお願
いします。

森 豊:皆様ご無沙汰しています。メールボック
スに入れさせていただきましたが、山崎てい
じコンサート 7 月 4 日の案内ですが、チケッ
トをよろしくお願いします。今日も持参して
います。御協力お願い申し上げます。

本日のプログラム

「会員卓話」



藤野恵子 会員



伊藤雅文 会員

2025-26 年度地区奨学金補助金奨学生 宮里倫史様 近況報告

2026 年 1 月 ;

いつも大変お世話になっております。2026 年 1 月の活動についてご報告させていただきます。今月は秋学期の最後の月ということもあり、各

授業の試験に追われながら、クラスの学内コンサートと、副科として専攻しているバロック音楽(凡そ 16 世紀から 18 世紀頃までの西洋音楽)学内コンサートに出演しました。クラスの学内コンサートの方では、先月の試験が終わってからの約 3 週間という短い期間で新たな大規模な作品に挑み、演奏としては不出来なものになってしまいました。このレパートリーは、来月コンクールでも演奏する予定で、この経験をもとにそれに向けて仕上げていきたいと思っております。バロック音楽の学内コンサートでは、2 人のバロックフルートとの室内楽としての出演で、僕は今回もチェンバロを演奏させていただきました。このコンサートでは、非常に多彩な古楽器、クラヴィコード(ピアノの前身の一つ)からテオルボ(大きなリュートの一種)までが出演し、興味深い貴重な体験となりました。

来月 2 月は学期間の冬休暇ではありますが、ありがたいことに大学での練習は可能で、現代音楽のコンサートと、2 月後半に行われるイタリアでのコンクールへの準備を毎日一日中することになると思われます。よりよい報告ができるよう、引き続き精進いたします。

2026 年 2 月 ;

大変お世話になっております。2026 年 2 月の活動についてご報告させていただきます。今月は、学期間の休暇中ではありましたが、大きなコンサート一つと、国際コンクール一つに参加してまいりました。

まず、コンサートにつきまして、これは、ルツェルン大学で行われる現代音楽を主体としたマスタークラスにおいて開催されました。ルツェル

ン大学は、現代音楽にかなり力を入れており、スイス国内外から学生と、現代音楽専門の作曲家、演奏家が集まるこのマスタークラスを毎年行っています。今回私が出演したコンサートでは、そのマスタークラス内でのイベントの一つとして、教授陣の作品が演奏されました。作品は、ピアノと弦楽器、管楽器あわせて6人、そして拍子を示すための指揮者という特別な編成で、ポリリズムと変拍子がかかなり難解な作品でしたが、他の方々の協力のおかげで、何とか形にし、大勢のお客様に喜んでいただくことができました。日本では、現代音楽は哲学的でとっつきにくいものというように思われているように感じますが。こちらでは、クラシック音楽よりも自由で、聴衆の受け取り方もポップスのコンサートに近いように思いました。

中旬からはイタリアの中部、グロッセートで行われたコンクール、スクリヤービン国際コンクールに参加いたしました。参加総数は60から70名、二次予選へは12名、決勝へはそこから3名という厳しい条件ではありましたが、結果は残念ながら2次予選での落選となってしまいました。越えられることのできなかつたことに大きく落胆しておりますが、何とか次の目標を見つけ、次こそ良いご報告ができるよう精進してまいります。

3月から春学期が再び始まりますが、まずは4月に行う国際コンクール提出用動画の録画に向け準備しようと考えております。次月のご報告では、具体的なコンクール参加の計画をご報告させていただきたいと思っております。

会報発行担当：川戸広樹